

総合治療用電気刺激装置

# G-TES®

ジーテス

取扱説明書



株式会社 **ホーマイオン研究所**

東京都渋谷区神泉町17番2号

お客様相談室  オハヨーニサンキュー 0120-084239

※商品改良のため予告なく一部仕様を変更することがありますのでご了承ください。

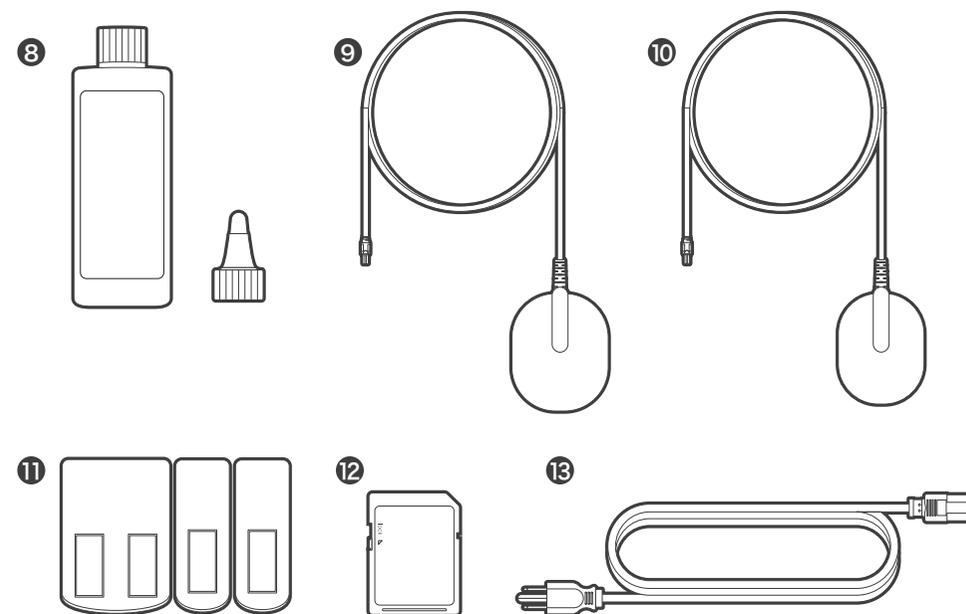
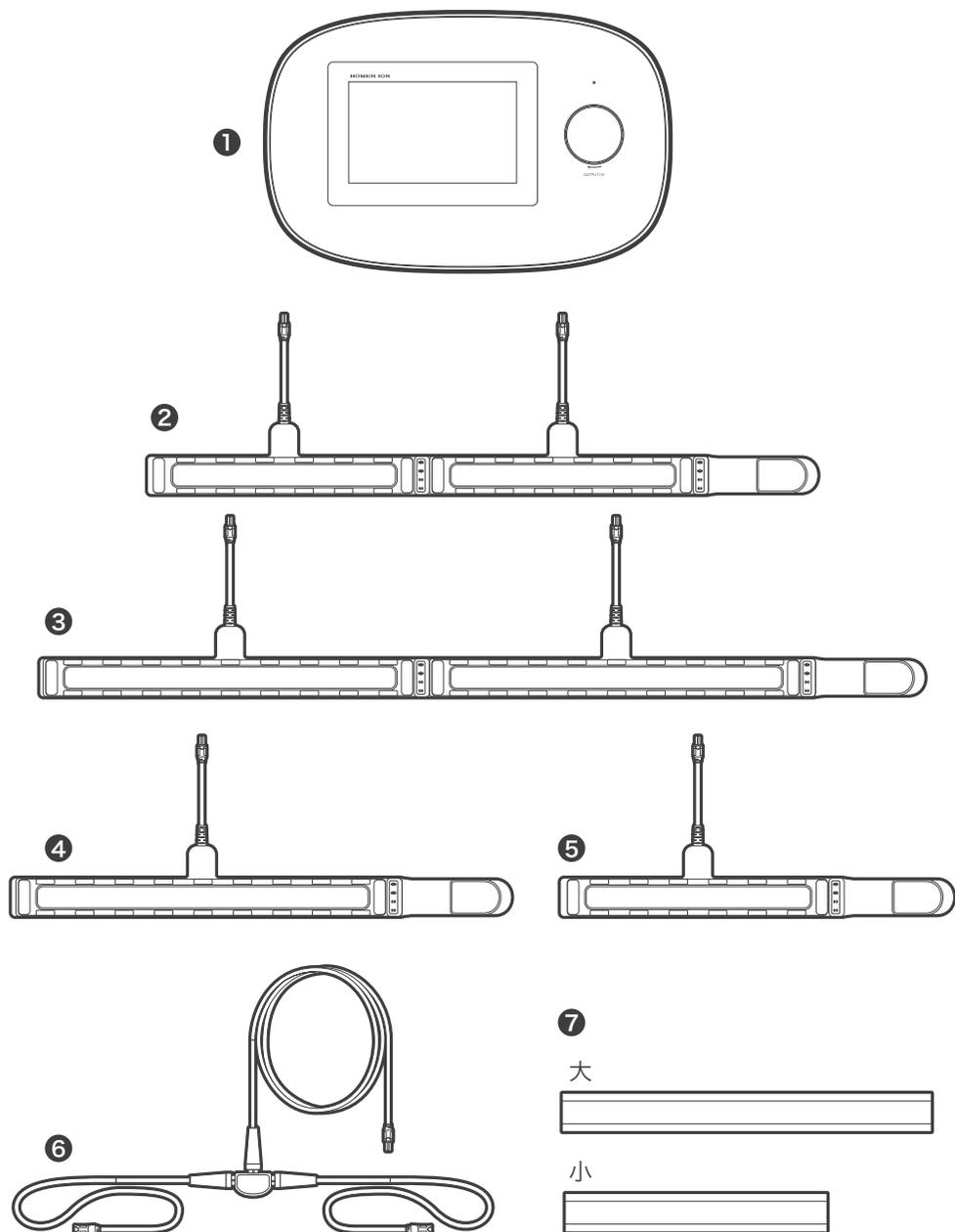


**HOMER ION**

# 目次

●機器本体および付属品名称	3	2.確認画面	21
●本体各部の名称	5	3.出力調整	22
●ベルト電極・接続コード・パッド導子各部の名称	6	4.設定変更(通電中)	23
●B-SESベルト電極使用時の操作方法	7	5.治療終了	23
・使用目的	7	6.パッド導子(部位症状)の治療例	24
1.機器の準備	7	7.省電力機能	24
2.B-SESベルト電極の準備	7	●「自由選択」の設定方法	25
3.B-SESベルト電極の装着	9	1.治療方法の選択	25
4.電源スイッチ	10	2.出力調整	26
・B-SESベルト電極のご使用方法	11	3.設定変更(通電中)	27
1.B-SES治療方法の選択	11	4.治療終了	28
2.モード選択について	11	5.省電力機能	28
3.患者設定および確認	12	●基本設定	29
4.出力調整	12	1.B-SES基本設定	29
5.設定変更(通電中)	14	2.パッド導子基本設定	29
6.治療終了	15	3.日時設定	30
7.省電力機能	15	4.SDカードフォーマット	31
・使用後のベルト電極のお手入れ方法	16	●患者情報	32
1.ベルト電極のお手入れ方法	16	・患者情報の機能	32
2.ベルト電極シートのお手入れ方法	16	1.患者IDの登録方法	32
●パッド導子使用時の操作方法	17	2.患者情報の選択	34
・使用目的	17	3.患者情報の削除	37
1.機器の準備	17	4.患者IDの削除	39
2.パッド導子の準備	17	メッセージ、エラー表示	40
3.パッド導子の固定	18	修理を依頼される前に	41
4.電源スイッチ	18	保証規定	41
●「部位症状」の設定方法	19		
1.パッド導子治療方法の選択	19		

# 機器本体および付属品名称



## ① 機器本体 1台

### 付属品

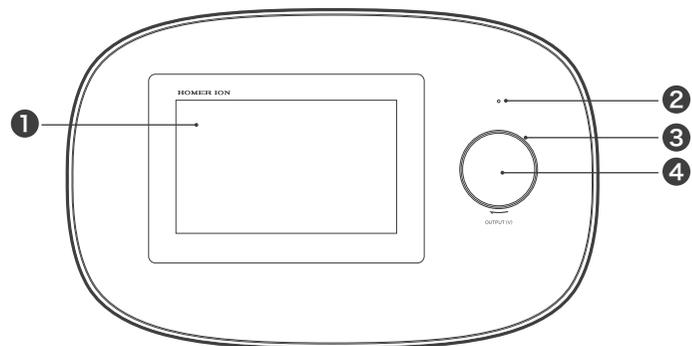
- ベルト電極
  - ② ベルト電極 腰S 1本 (胸囲:約80cmまで推奨)
  - ③ ベルト電極 腰L 1本 (胸囲:約120cmまで推奨)
  - ④ ベルト電極 大2本 (周径:約50cmまで推奨)
  - ⑤ ベルト電極 小2本 (周径:約35cmまで推奨)
  - ⑥ ベルト電極用接続コード 3本  
腰(黒)、膝上(オレンジ)、足首(白)
  - ⑦ ベルト電極シート  
大 12枚  
小 12枚
  - ⑧ 抗菌通電液「クリーンパワー」
- パッド導子
  - ⑨ パッド導子 +導子(大) 1個
  - ⑩ パッド導子 -導子(小) 2個
  - ⑪ パッド導子固定用バンド  
大 1本  
小 2本
- その他
  - ⑫ 専用SDカード 1枚
  - ⑬ 電源コード  
添付文書  
取扱説明書  
保証書  
専用カート(オプション)

※商品改良のため予告なく一部仕様を変更することがありますのでご了承ください。

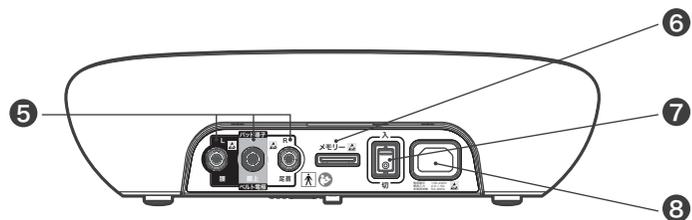
## 本体各部の名称

- |               |             |                 |
|---------------|-------------|-----------------|
| ① タッチパネル式液晶   | ⑤ 治療出力端子    | ⑨ 電源ヒューズボックスカバー |
| ② 治療出力表示ランプ   | ⑥ SDカード差込口  | ⑩ カート用ネジ穴       |
| ③ イルミネーションランプ | ⑦ 電源スイッチ    |                 |
| ④ メインボリューム    | ⑧ 電源コードコネクタ |                 |

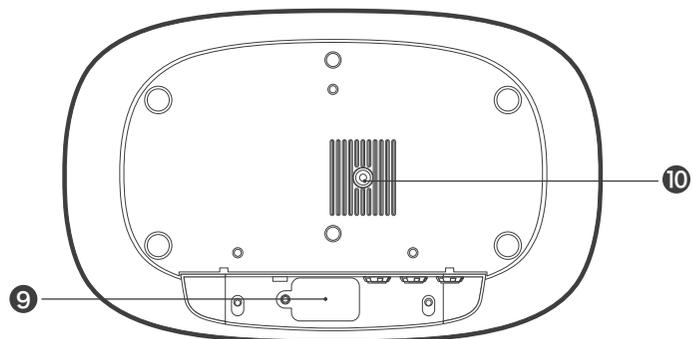
前面



背面



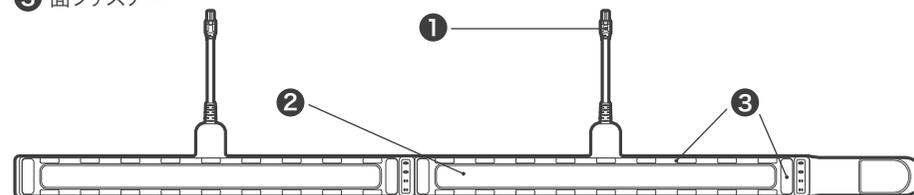
裏面



## ベルト電極・接続コード・パッド導子 各部の名称

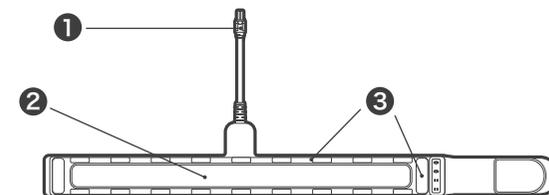
ベルト電極 腰(S,L)

- ① ベルト電極コネクタ
- ② 電極(導電性シリコンゴム)
- ③ 面ファスナー



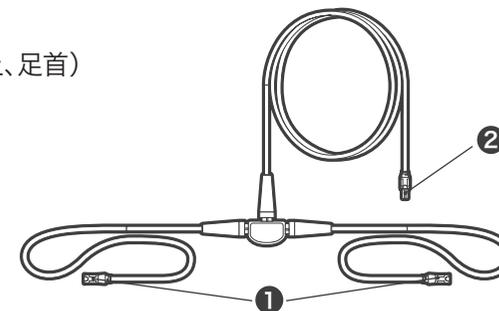
ベルト電極 大、小

- ① ベルト電極コネクタ
- ② 電極(導電性シリコンゴム)
- ③ 面ファスナー



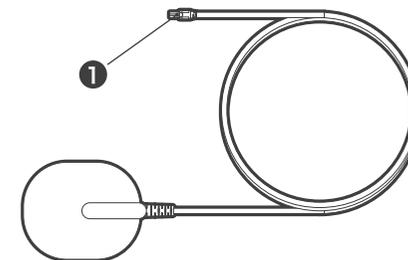
ベルト電極用接続コード(腰、膝上、足首)

- ① ベルト電極接続用コネクタ
- ② 治療出力端子接続用コネクタ



パッド導子 大、小

- ① 治療出力端子接続用コネクタ



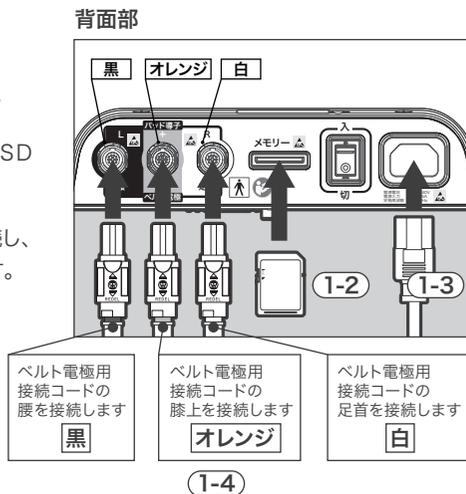
# B-SESベルト電極使用時の操作方法

## 使用目的

- ・廃用性筋萎縮の予防
- ・筋力強化
- ・筋収縮と弛緩による代謝、循環の促進
- ・筋緊張の抑制効果
- ・有酸素運動の代用

## 1 機器の準備

- 1-1 機器本体を平らな安定した場所に置いてください。
- 1-2 付属の専用SDカードを本体背面のメモリー (SDカード差込口) に挿入します。
- 1-3 電源コードを本体背面の電源コードコネクタに接続し、電源プラグをコンセント (AC100V) に差し込みます。



- 1-4 ベルト電極用接続コードを本体背面の治療出力端子に接続します。治療出力端子部の表示に合わせて接続してください。
- ※) SDカードの抜き差しは、必ず電源スイッチをOFFにした状態で行なってください。
- ※) 静電気は人体や衣類に帯電しています。機器の準備を行う前に金属物に触れるなどして、必ず静電気を逃がしてください。

## 2 B-SES ベルト電極の準備

- 2-1 ベルト電極にベルト電極シートをセットして、抗菌通電液「クリーンパワー」または、ぬるま湯や水を十分に浸透させ、余った水分をタオルで拭き取ってください。

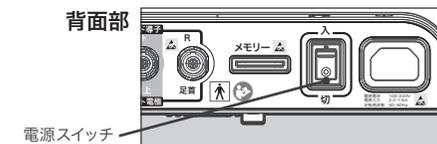
### ●ベルト電極とベルト電極シートの対応表

ベルト電極の種類	セットするベルト電極シートの種類と枚数
腰 S	小 2枚
腰 L	大 2枚
大	大 1枚
小	小 1枚

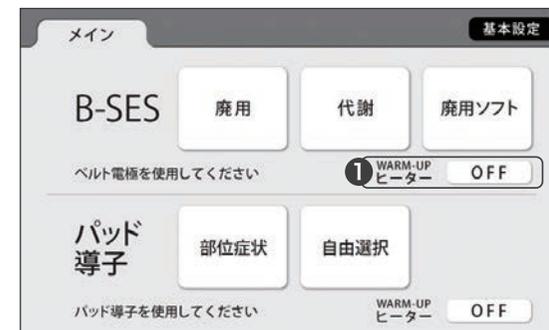
### ●WARM-UPヒーターの使用準備

- 2-2 ベルト電極のWARM-UPヒーターを使用する事で、治療前にベルトを温める事ができます。B-SESの治療では、“「ON」してから約7分後”、“通電開始時”に自動でWARM-UPヒーターが止まります。
- 2-3 ベルト電極用接続コードとベルト電極の接続は、ベルト電極用接続コードの表示に合わせてLに左側(緑)、Rに右側(青)のベルト電極を接続してください。

- 2-4 電源スイッチを「入」にすると、液晶画面が表示され、使用準備の完了です。SDカード未挿入時は、「SDカードエラー」画面が表示されます。

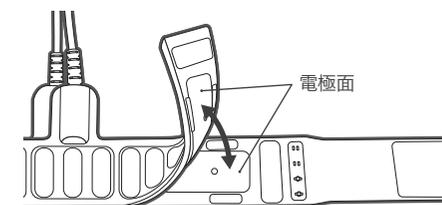


- 2-5 「メイン」画面で「WARM-UPヒーター」の設定をします。



番号	ボタン / 表示	説明
1	WARM-UPヒーター	現在のWARM-UPヒーターの状態を表示します。ボタンを押す毎に「OFF」「ON」が切り替ります。WARM-UPヒーターを使用する場合は「ON」にしてください。再度、押すと「OFF」になります。

- ※) WARM-UPヒーター作動時は、通電部分を接触させるとより温まります。腰Lと腰Sは電極面を内側に2つに折り重ねます。大と小はそれぞれ電極面どうしが接触するように重ねます。
- ※) WARM-UPヒーター「ON」設定時に「基本設定」ボタン (P.29参照) をタッチして初期設定をして「メイン」画面に戻ると、WARM-UPヒーターは自動的に「OFF」になります。



⊘ 注意

通電中のWARM-UPヒーターの連続使用はしないでください。高温になりやすいため低温やけどの可能性あります。

⊘ 注意

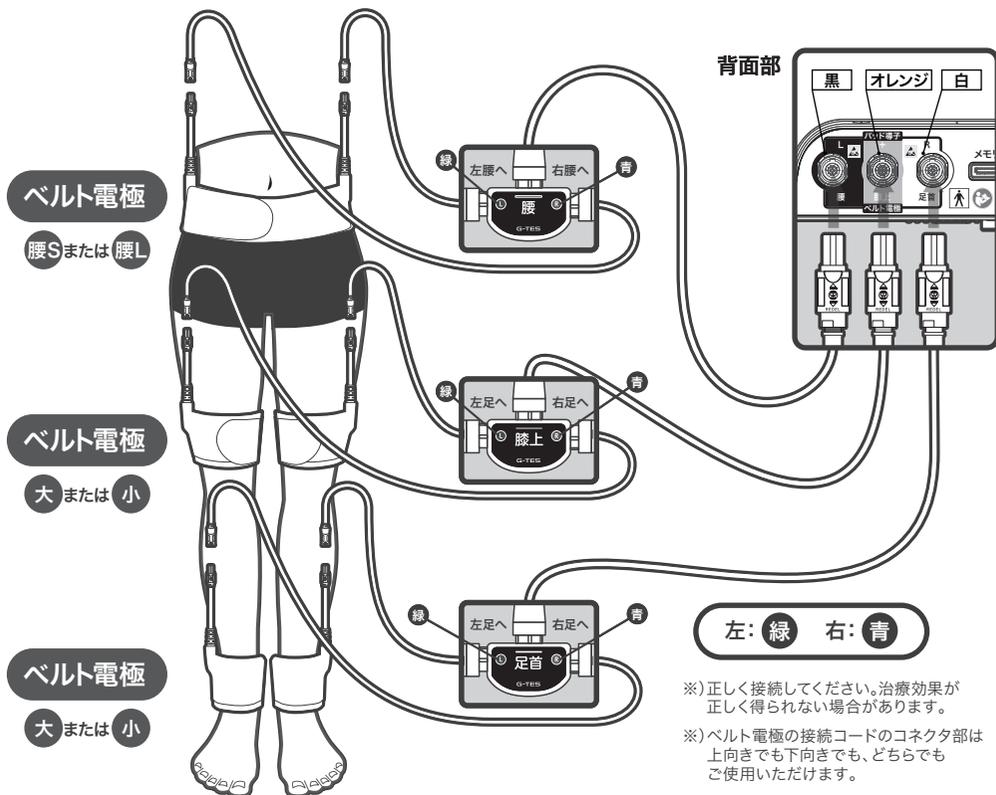
タッチパネル液晶画面の取扱いについては、以下の点に注意してください。故障の原因となります。

- ・指以外のものでも操作しないでください。硬いもので押ししたり、ひっかいたりしないでください。
- ・画面を強く押ししたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- ・表面が汚れた場合は、脱脂綿またはやわらかい布で拭き取ってください。

# B-SESベルト電極使用時の操作方法

## 3 B-SES ベルト電極の装着

- ③-1 ベルト電極を下図のように巻きます。
- ③-2 通電部分を必ず素肌に密着させてください。
- ③-3 ベルト電極用接続コードとベルト電極の接続は、ベルト電極用接続コードの表示に合わせてLに左側(緑)、Rに右側(青)のベルト電極を接続してください。



### △ 注意

- 適用サイズを超えて無理に使用したり、ベルトをきつく締めすぎないでください。虚血及び、ベルト破損の恐れがあります。

### ● ベルト電極の適用サイズ表

ベルト電極の種類	適用推奨サイズ
腰 S	胸囲: 約80cmまで
腰 L	胸囲: 約120cmまで
大	周径: 約50cmまで
小	周径: 約35cmまで

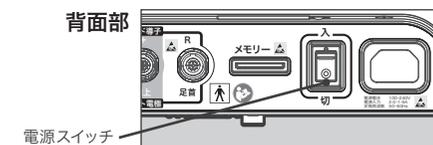
### 治療時の姿勢の特徴

下肢全体に安定した出力を得るために、基本的に治療は臥位にて実施してください。筋収縮は筋が短縮していると強く、伸張していると弱くなります。目的の筋を収縮させたい場合は、それぞれに合う姿勢にて、実施してください。

## 4 電源スイッチ

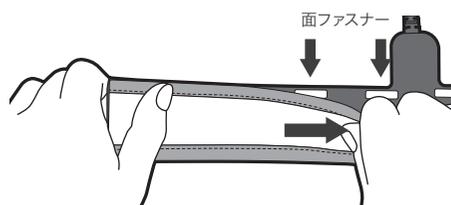
(WARM-UPヒーターを使用していない場合)

電源スイッチを「入」にすると、液晶画面が表示され、使用準備の完了です。SDカード未挿入時は、「SDカードエラー」画面が表示されます。



### △ 注意

- ベルト電極シートは、白い面ファスナーが見えなくなるようにセットしてください。電極部分が直接肌に触れると、やけどなどの原因となる場合があります。
- ベルト電極シートは、かるく伸ばしながらベルト電極にセットしてください。巻いた時にベルト電極シートのたわみが大きくなり、素肌への密着不良の原因となる場合があります。



# B-SESベルト電極のご使用方法

## 1 B-SES治療方法の選択

「メイン」画面でB-SES治療モードの「廃用」「代謝」「廃用ソフト」を目的に応じて選択します。

※)「基本設定」については、P.29参照。



番号	ボタン/表示	説明
①	B-SESモード選択	「廃用」「代謝」「廃用ソフト」から選択します。
②	WARM-UPヒーター	現在のWARM-UPヒーターの状態を表示します。ボタンを押す毎に「OFF」「ON」が切り替ります。WARM-UPヒーターを使用する場合は「ON」にしてください。再度、押すと「OFF」になります。「ON」に切り替った後、5分経過すると自動的に「OFF」に切り替ります。
③	基本設定	「基本設定」画面が表示され、音量などの初期設定が行えます。

### △ 注意



タッチパネル液晶画面の取扱いについては、以下の点に注意してください。故障の原因となります。

- 指以外のものでも操作しないでください。硬いもので押ししたり、ひっかいたりしないでください。
- 画面を強く押ししたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 表面が汚れた場合は、脱脂綿またはやわらかい布で拭き取ってください。

## 2 モード選択について

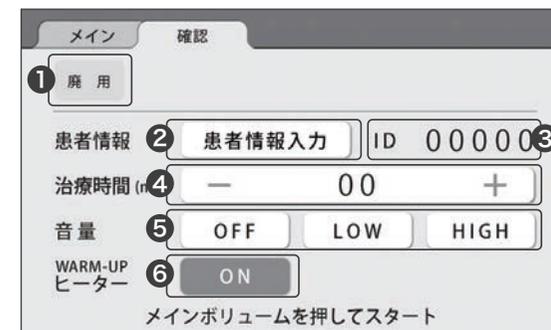
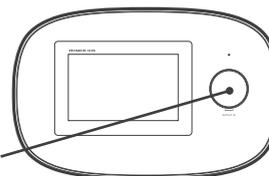
治療時間は5分単位で調整できます。

モード/ボタン	リハビリ内容	説明
廃用	筋力トレーニング	20Hzの連収縮で筋の強縮を5秒間行い、2秒間休止するパターンを繰り返します。
代謝	有酸素運動	4Hzの筋の単収縮を行います。エネルギー代謝や糖代謝の促進を目的とした運動の代用モード。
廃用ソフト	筋力トレーニング	20Hzの連収縮で筋の強縮を3秒間行い、2秒間休止するパターンを繰り返します。廃用モードで呼吸を止めてしまう患者にも対応可能な筋力トレーニングのモード。

## 3 患者設定および確認

③-1 「確認」タブで「治療時間」「WARM-UPヒーター」「音量」の設定を確認します。基本設定画面で設定された内容が表示されます。

③-2 メインボリュームを押して治療を開始します。



番号	表示	説明
①	治療状態表示	「メイン」画面で選択したモード名が表示されます。
②	患者情報入力	「患者情報」画面が表示され、患者情報の「登録」、「選択」、「削除」ができます。
③	患者ID表示	「患者情報」から呼び出された患者IDが表示されます。
④	治療時間設定	基本設定画面で初期設定を変更できません。「-」「+」ボタンで変更します。5～50分までの5分単位での変更が可能です。
⑤	音量設定	基本設定画面で初期設定を変更できません。音量は無音の「OFF」および「LOW」「HIGH」があります。
⑥	WARM-UPヒーター	現在のWARM-UPヒーターの状態を表示します。ボタンを押す毎に「OFF」「ON」が切り替ります。WARM-UPヒーターを使用する場合は「ON」にしてください。再度、押すと「OFF」になります。「ON」に切り替った後、5分経過すると自動的に「OFF」に切り替ります。

※)「基本設定」については、P.29参照。

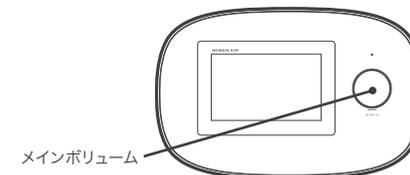
### △ 注意



通電中のWARM-UPヒーターの連続使用はしないでください。高温になりやすいため低温やけどの可能性がります。

## 4 出力調整

④-1 出力調整(全体)  
メインボリュームを筋肉運動がおきるくらいまで上げてください。



# B-SESベルト電極のご使用方法

## 4-2) 出力調整(個別)

「大腿 左」「大腿 右」の出力調整を、「-」「+」ボタンで行います。次に「下腿 左」「下腿 右」の出力と同様に調整します。



※) 廃用と廃用ソフトでは、周波数が20Hzになった段階で最終的な出力強度を調整してください。

※) 治療中は右の画面が表示されます。

出力強度は基本的に患者の耐えられる最大の強さに合わせます。過去出力値を記録した場合はその値を参考に出力強度を調整してください。

※) 通電中の出力値を記録したい場合は「記録」ボタンを押します。

### 漸増的強度

出力強度は出力値を確認し、治療開始時 → 治療2日目 → 3日目と前回の値以上に出力を徐々に上げ、漸増的に患者の耐えられる最大限の強さに運動負荷強度を上げるようにしてください。筋萎縮の著しい方、電気刺激に慣れていない方は、代謝モードから慣らすと導入しやすいこともあります。

番号	ボタン/表示	説明
①	治療状態表示	設定されたモード名、治療時間、周波数が表示されます。
②	通電部位名称	「大腿 左」「大腿 右」「下腿 左」「下腿 右」。
③	出力値表示	現在治療中の電流値が表示されます。
④	最大/選択	患者情報から呼び出された電流値が表示されます。 最大(mA): 各部位毎の過去最大電流値を表示します。 選択(mA): 選択した過去の電流値を表示します。
⑤	出力レベル表示	現在の出力をレベル表示します。 「-」「+」で部位別の出力調節が可能です。
⑥	最大/選択	④の表示を「過去最大値」と「過去選択値」で順に切り替えます。

⑦	記録	押してから14秒間の電流値を記録します。記録した電流値は、患者情報から呼び出しが出来ます。
	記録中 ブルー点滅	記録中は「記録中」が点滅します。
	記録 オレンジ	記録後は、「記録」のボタンがオレンジに変化します。再記録は可能ですが、電流値は上書きされます。
⑧	出力ロック オレンジ	出力ロック状態です。メインボリュームや出力調節ボタンを操作しても出力は上がりません。下げることは可能です。
	出力ロック解除	出力ロック解除です。
⑨	設定変更	「設定変更」画面が表示され、音量の設定変更が可能です。
⑩	WARM-UPヒーター	現在のWARM-UPヒーターの状態を表示します。ボタンを押す毎に「OFF」「ON」が切り替ります。WARM-UPヒーターを使用する場合は「ON」にしてください。再度、押すと「OFF」になります。「ON」に切り替った後、5分経過すると自動的に「OFF」に切り替ります。

## 5 設定変更(通電中)

通電中画面で、「設定変更」のボタンにタッチすると右の画面が表示され、音量の設定変更が可能です。



番号	ボタン/表示	機能
①	治療状態表示	設定されたモード名、治療時間が表示されます。
②	治療時間設定	治療時間の設定変更はできません。
③	音量設定	音量は無音の「OFF」及び「LOW」「HIGH」があります。
④	設定終了	設定変更の終了時にタッチしてください。「通電中」画面に戻ります。

※) この画面で5秒間、何も操作がない場合、自動的に「通電中」画面に戻ります。

⚠ 注意	
⊘	通電中のWARM-UPヒーターの連続使用はしないでください。高温になりやすいため低温やけどの可能性あります。

## B-SESベルト電極のご使用方法

### 6 治療終了

**6-1** 治療終了画面  
治療が終了すると右の画面が表示されます。「OK」ボタンをタッチすると「メイン」画面に戻ります。

**6-2** ベルト電極の取り外し  
ベルト電極とベルト電極用接続コードを外し、ベルト電極接続コードを本体から外してください。

**6-3** 本体とベルト電極の保管  
本体は、電源コード及びベルト電極を外して保管してください。  
ベルト電極の取り扱いについては、P.16「使用後のベルト電極のお手入れ方法」を参照してください。



※) WARM-UPヒーター使用時は、「通電終了時」に自動でWARM-UPヒーターが止まります。

#### △ 注意

- ベルト電極やベルト電極用接続コードを外す時は、コードを持たずに必ず先端のコネクタを持って取り外してください。破損や断線の原因となります。
- 電源プラグを引き抜く時は、電源コードを持たずに必ず電源コードコネクタや、電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。

### 7 省電力機能

「通電中」以外の画面で、操作しない状態が10分間経過した場合は、液晶画面の表示が消え省電力モードに入ります。この時、治療出力ランプが紫色に点滅します。復帰させるには、メインボリュームを押します。「メイン」画面が表示されますので、操作を開始してください。

## 使用後のベルト電極のお手入れ方法

### 1 ベルト電極のお手入れ方法

ベルト電極シートを取り外して、滅菌・洗浄することができます。  
ガス滅菌および、使用毎のエタノールでの拭き取りによる洗浄を実施することを推奨します。

#### △ 注意



- ベルト電極コネクタ内に水分を入れないようにしてください。万一入った場合は、十分に乾燥させてから使用してください。

### 2 ベルト電極シートのお手入れ方法

患者の衛生管理に依じて以下を実施することを推奨します。

#### ① 交換

消耗での交換目安は電極シートが起毛したりヨれるなどして面ファスナーとの接着が弱まった場合や、一部破れが生じ使用に支障をきたす場合、水分を十分に含まない場合。

#### ② 衛生対策種類

- 「滅菌」…ガス滅菌を推奨。
- 「除菌」…抗菌通電液「クリーンパワー」の塗布、若くは次亜塩素酸による洗浄。
- 「洗浄」…アルカリ洗剤での手洗いまたは洗濯機での実施を推奨。

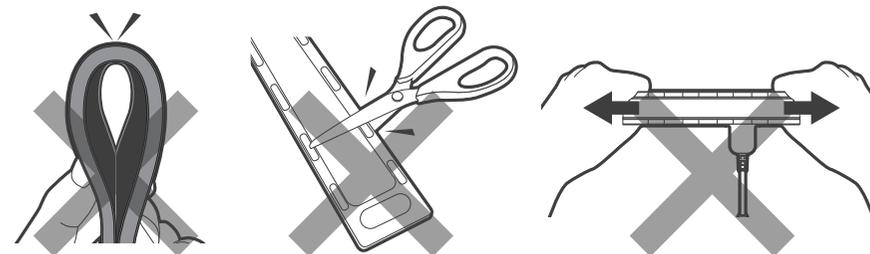
#### ③ 使用毎の衛生対策

抗菌通電液「クリーンパワー」の塗布、もしくは消毒用エタノールでの拭き取り。

#### △ 注意



- 鋭角に折り曲げないでください。内部の基板や配線が断線する恐れがあります。
- ベルト電極に使用しているシリコンゴムは裂けやすいので、キズをつけないようにご注意ください。破損の原因となります。
- ベルト電極の本体及びコードを強く引っ張らないでください。破損の原因となります。
- 分解しないでください。



# パッド導子使用時の操作方法

## 使用目的

- ・筋緊張の緩和
- ・痙攣抑制
- ・選択的筋力強化
- ・神経因性疼痛
- ・侵害受容性疼痛
- ・麻痺(促通法)

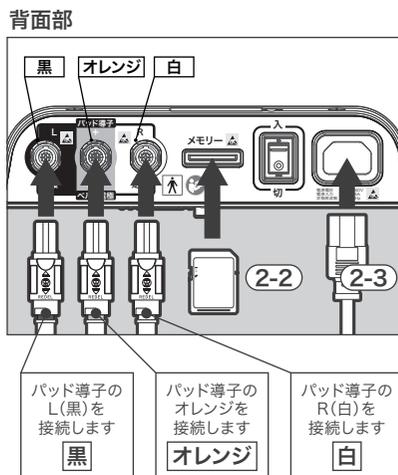
## 1 機器の準備

- 1-1 機器本体を平らな安定した場所に置いてください。
- 1-2 付属の専用SDカードを本体背面のメモリー(SDカード差込口)に挿入します。
- 1-3 電源コードを本体背面の電源コードコネクタに接続し、電源プラグをコンセント(AC100V)に差し込みます。
- 1-4 パッド導子治療出力端子接続用コネクタを本体背面の治療出力端子に接続します。治療出力端子部の表示に合わせて接続してください。

※) SDカードの抜き差しは、必ず電源スイッチをOFFにした状態で行ってください。

※) 静電気は人体や衣類に帯電しています。機器の準備を行う前に金属物に触れるなどして、必ず静電気を逃がしてください。

※) パッド導子を3本接続し、2本のみ治療に使用した場合、使用していない電極に触れますと通電しますのでご注意ください。また、パッド導子を2本のみ本体に接続した場合はWARM-UPヒーターは作動しません。



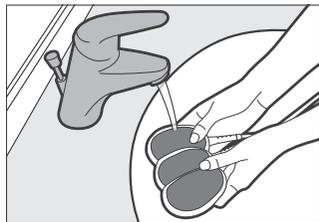
パッド導子のL(黒)を接続します  
黒

パッド導子のオレンジを接続します  
オレンジ

パッド導子のR(白)を接続します  
白

## 2 パッド導子の準備

- 2-1 導子布面にぬるま湯または水を十分に中まで浸透させ、柔らかくなってから、しずくが落ちない程度に水分をしぼります。



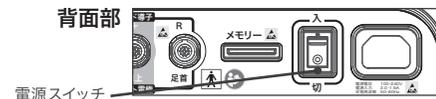
### ⚠ 注意

- ・導子に水分がないと通電しません。
- ・使用する全ての導子に水分を充分浸透させてください。
- ・導子コネクタ内に水分を入れないようにしてください。万一入った場合は、十分に乾燥させてから使用してください。

### ● WARM-UPヒーターの使用準備

- 2-2 パッド導子のWARM-UPヒーターを使用する事で、治療前にベルトを温める事ができます。パッド導子の治療では、「ON」してから約10分後、「通電開始時」に自動でWARM-UPヒーターが止まります。
- 2-3 パッド導子治療出力端子接続用コネクタを本体背面の治療出力端子に接続します。治療出力端子部の表示に合わせて接続してください。

- 2-4 電源スイッチを「入」にすると、液晶画面が表示され、使用準備の完了です。SDカード未挿入時は、「SDカードエラー」画面が表示されます。



- 2-5 「メイン」画面で「WARM-UPヒーター」の設定をします。

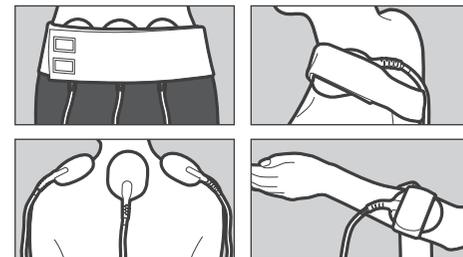


番号	ボタン/表示	説明
1	WARM-UPヒーター	現在のWARM-UPヒーターの状態を表示します。ボタンを押す毎に「OFF」「ON」が切り替ります。WARM-UPヒーターを使用する場合は「ON」にしてください。再度、押すと「OFF」になります。「ON」に切り替った後、10分経過すると自動的に「OFF」に切り替ります。

※) WARM-UPヒーター「ON」設定時に「基本設定」ボタン(P.29参照)をタッチして初期設定をして「メイン」画面に戻ると、WARM-UPヒーターは自動的に「OFF」になります。

## 3 パッド導子の固定

- 3-1 パッド導子固定用バンドは固定する部位に応じて使いわけてください。
- 3-2 パッド導子の布面を治療部位(肩・腰など)に直接固定します。
- 3-3 付属のパッド導子固定用バンドは使用部位にあらかじめ巻いて、その隙間にパッド導子を挟み込みます。肩など固定しにくいところは、バンドをタスキかけにして密着させるか、衣類と肌の間に入れて密着させます。

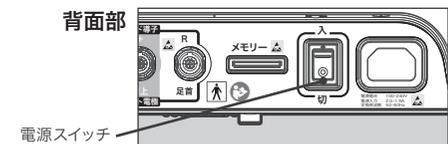


### ⚠ 注意

パッド導子を使用する際には、必ず素肌に密着させてご使用ください。

## 4 電源スイッチ

(WARM-UPヒーターを使用していない場合)  
電源スイッチを「入」にすると、液晶画面が表示され、使用準備の完了です。SDカード未挿入時は、「SDカードエラー」画面が表示されます。



# 「部位症状」の設定方法

## 1 パッド導子治療方法の選択

1-1 「メイン」画面でパッド導子治療モードの「部位症状」を選択します。

※)「基本設定」については、P.29参照。



**注意**

通電中のWARM-UPヒーターの連続使用はしないでください。高温になりやすいため低温やけどの可能性があります。

番号	ボタン/表示	説明
1	部位症状	「部位症状」を選択します。
2	WARM-UPヒーター	現在のWARM-UPヒーターの状態を表示します。ボタンを押す毎に「OFF」「ON」が切り替ります。WARM-UPヒーターを使用する場合は「ON」にしてください。再度、押すと「OFF」になります。「ON」に切り替った後、10分経過すると自動的に「OFF」に切り替ります。
3	基本設定	「基本設定」画面が表示され、音量などの初期設定が行えます。

1-2 「部位症状」画面で部位を選択します。

※) 部位を選択後、該当する症状のボタンが表示されます。



1-3 「部位症状」画面で症状を選択し、右上の「次へ」をタッチします。

※) 部位を選択後、該当する症状のボタンが表示されます。組み合わせパターンについては、部位症状パターン一覧を参照ください。



**注意**

「部位症状」では、治療中に組み合わせパターンの変更はできません。

## 1-4 部位症状パターン一覧

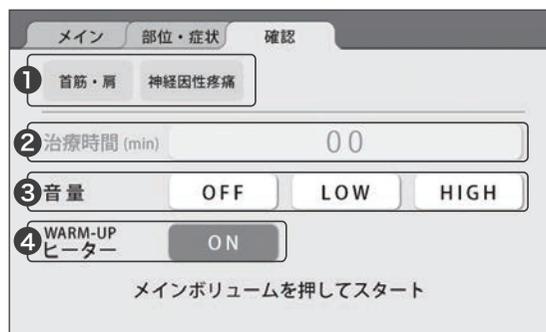
部位	症状	時間	特徴
首筋・肩	筋緊張	10分	たたく速さを変えながら気持ちよくもみほぐします。
	侵害受容性疼痛	10分	筋肉運動を抑えて、すばやく痛みをやわらげます。
	神経因性疼痛	12分	交感神経を抑制し、すばやく痛みをやわらげます。
腰	筋緊張	12分	筋肉運動を適度にとりもみほぐします。
	侵害受容性疼痛	15分	痛みをすばやくやわらげ、その効果を持続させます。
	神経因性疼痛	15分	交感神経を抑制し、すばやく痛みをやわらげます。
上肢	筋緊張	10分	段階的に筋肉マッサージを行いもみほぐします。
	侵害受容性疼痛	10分	筋肉運動を抑え、痛みをやわらげます。
	神経因性疼痛	12分	交感神経を抑制し、すばやく痛みをやわらげます。
	廃用	10分	廃用性筋萎縮を改善・予防します。治療時間は変更可能です。
	麻痺 ※1)	15分	麻痺した神経の回復を促し同時に筋肉の衰えをふせぎます。
下肢	筋緊張	10分	段階的に筋肉マッサージを行いもみほぐします。
	侵害受容性疼痛	15分	即効的に痛みをやわらげ、その効果が持続させます。
	神経因性疼痛	13分	交感神経を抑制し、すばやく痛みをやわらげます。
	廃用	20分	廃用性筋萎縮を改善・予防します。治療時間は変更可能です。
	麻痺 ※1)	15分	麻痺した神経の回復を促し、同時に筋肉の衰えをふせぎます。
肘・膝	筋緊張	10分	関節は筋肉組織が少ないので血液等の流れを主にしたパターンです。
	侵害受容性疼痛	10分	うずきを抑えて、すばやく痛みをやわらげます。
	神経因性疼痛	12分	交感神経を抑制し、すばやく痛みをやわらげます。
自律神経	ソフト	16分	精神的な疲れを癒し、リラックスすることを主としたパターンです。
	ハード	15分	神経的な活性を促すパターンです。

※1) ・「症状」を「麻痺」に選択した場合、求心性の刺激及び極性に応じた作用(⊕興奮性)を行う目的で治療出力端子の中央が-極性に、左右が+極性に自動的に切り替ります。  
 ・収縮中のパターン時に随意的に動かす合図として音が鳴ります。  
 「音量」が「OFF」場合や、「音選択」の「治療音」をOFFにした場合(基本設定画面)はこの音は鳴りません。

# 「部位症状」の設定方法

## 2 確認画面

- ②-1 「確認」タブで「治療時間」「WARM-UPヒーター」「音量」の設定を確認します。  
基本設定画面で設定された内容が表示されます。



番号	ボタン / 表示	説明
①	治療状態表示	「部位症状」画面で選択したモード名が表示されます。
②	治療時間表示	選択したモードで指定された治療時間が表示されます。 ※) 症状が廃用の場合は、「基本設定」画面で変更が可能です。
③	音量設定	基本設定画面で初期設定を変更できます。 音量は無音の「OFF」および「LOW」「HIGH」があります。
④	WARM-UPヒーター	現在のWARM-UPヒーターの状態を表示します。 ボタンを押す毎に「OFF」「ON」が切り替ります。WARM-UPヒーターを使用する場合は「ON」にしてください。再度、押すと「OFF」になります。「ON」に切り替った後、10分経過すると自動的に「OFF」に切り替ります。

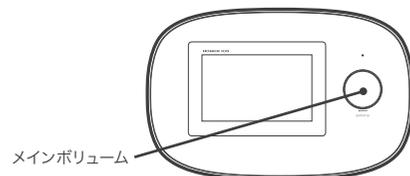
※)「基本設定」については、P.29参照。

### △ 注意



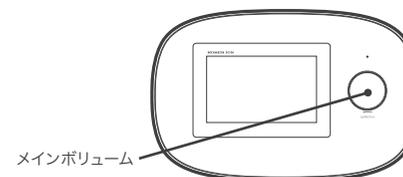
通電中のWARM-UPヒーターの連続使用はしないでください。  
高温になりやすいため低温やけどの可能性がります。

- ②-2 メインボリュームを押して治療を開始します。



## 3 出力調整

メインボリュームを回します。  
出力は徐々に強くし、気持ちの良い強さにします。  
はじめは少し強く感じるまでメインボリュームを回し、そこから少し戻した強さが適切な強さです。部位によっては筋肉の運動がおこるまでメインボリュームを回してください。  
治療中は右の画面が表示されます。



番号	ボタン / 表示	説明
①	治療状態表示	「部位症状」画面で選択したモード名が表示されます。
②	通電部位名称	「L」「R」。
③	出力レベル表示	現在の出力をレベルで表示します。 「-」「+」で部位別の出力調節が可能です。
④	オレンジ	出力ロック状態。 メインボリュームや出力調節ボタンを操作しても出力は上がりません。 下げることが可能です。
		出力ロック解除。
⑤	設定変更	「設定変更」画面が表示され、音量の設定変更ができます。
⑥	WARM-UPヒーター	現在のWARM-UPヒーターの状態を表示します。 ボタンを押す毎に「OFF」「ON」が切り替ります。WARM-UPヒーターを使用する場合は「ON」にしてください。再度、押すと「OFF」になります。「ON」に切り替った後、10分経過すると自動的に「OFF」に切り替ります。

# 「部位症状」の設定方法

## 4 設定変更(通電中)

通電中画面で、「設定変更」ボタンにタッチすると右の画面が表示され、WARM-UPヒーターと音量の設定変更が可能です。



番号	ボタン/表示	説明
①	治療状態表示	治療中の状態が表示されます。
②	治療時間表示/設定	選択したモードで指定されている治療時間が表示されます。症状が廃用の場合は左右の「-」「+」ボタンで変更します。5～50分までの5分単位での変更が可能です。
③	音量設定	音量は無音の「OFF」及び「LOW」「HIGH」があります。
④	設定終了	設定変更の終了時にタッチしてください。「通電中」画面に戻ります。

※この画面で5秒間操作がない場合、自動的に「通電中」画面に戻ります。

**△ 注意**

⊘ 通電中のWARM-UPヒーターの連続使用はしないでください。高温になりやすいため低温やけどの可能性があります。

## 5 治療終了

- ⑤-1 治療終了画面  
治療が終了すると右の画面が表示されます。「OK」ボタンをタッチすると「メイン」画面に戻ります。
- ⑤-2 本体と導子の保管  
本体は、電源コード、パッド導子コードを抜いて保管してください。
- ⑤-3 パッド導子は軽く水洗いし、風通しの良いところに保管してください。



## 6 パッド導子(部位症状)の治療例

### 筋緊張の緩和・侵害受容性疼痛・神経因性疼痛

- 導子の装着**  
  
⊕を神経根(首・腰) ⊖を疾患部位の直上  
※)アロディニアがある場合は発症していない神経直上
- 部位と症状のモードを選択**  
状態や疼痛の原因に応じてモードを選択する。  
※)同一患者でも実施日の状態に合わせて変更する(イラスト)左から、  
首筋・肩 腰 上肢 →各症状選択  
筋緊張 侵害受容性疼痛 神経因性疼痛
- 出力強度**  
治療出力は気持ちよく感じるところで実施。神経因性疼痛の場合は感覚閾値程度の弱めに実施する。

### 選択的筋力強化

- 導子の装着**  
筋強化する筋の起始・停止点
- 部位と症状のモードを選択**  
(イラスト) 下腿 → 廃用
- 出力強度**  
B-SESベルト電極のご使用方法②モード選択について参照。

### 単部位の痙性抑制

- 導子の装着**  
⊕を神経根(首・腰) ⊖を筋緊張している拮抗筋
- 部位と症状のモードを選択**  
(イラスト) 上肢 → 麻痺
- 出力強度**  
痙性拮抗筋の収縮が得られる程度の強さ

### 麻痺(促通法)

- 導子の装着**  
各モーターポイントと筋腹に導子置く  
⊕をモーターポイント ⊖を筋腹
- 部位と症状のモードを選択**  
(イラスト)左から、上肢 下肢 → 麻痺
- 出力強度** 随意収縮以上の収縮が得られる強さ  
①電気刺激(他動運動)  
②自動運動+電気刺激+促通法  
電気刺激により神経や筋に刺激を入れながら随意的に動かす。  
麻痺モードは、出力極性が反転します。

※)パッド導子を3本接続し、2本のみ治療に使用した場合、使用していない電極に触れますと通電しますのでご注意ください。また、パッド導子を2本のみ本体に接続した場合はWARM-UPヒーターは作動しません。

## 7 省電力機能

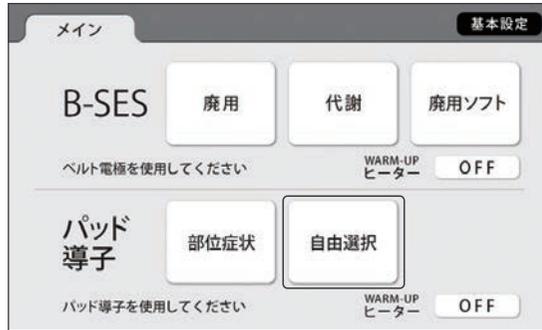
「通電中」以外の画面で、操作しない状態が10分間経過した場合は、液晶画面の表示が消え省電力モードに入ります。この時、治療出力ランプが紫色に点滅します。復帰させるには、メインボリュームを押します。「メイン」画面が表示されますので、操作を開始してください。

# 「自由選択」の設定方法

## 1 治療方法の選択

1-1 「メイン」画面でパッド導子治療モードの「自由選択」を選択します。

※)「基本設定」については、P.29参照。

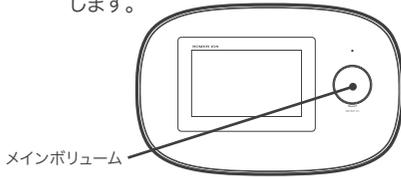


**注意**

通電中のWARM-UPヒーターの連続使用はしないでください。高温になりやすいため低温やけどの可能性がります。

1-2 「自由選択」画面で「パターン」「治療時間」「周波数」を選択します。

1-3 メインボリュームを押して治療を開始します。

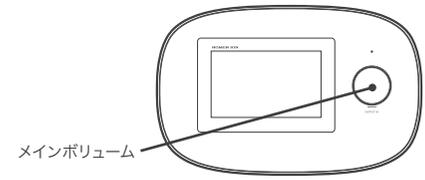


番号	ボタン/表示	機能								
①	パターン設定	「連続」「間欠」「ローリング」のうちから選択できます。								
②	治療時間設定	「-」「+」ボタンで変更します 1~15分までの1分単位での変更が可能です。								
③	周波数設定	「-」「+」ボタンで、パターン毎に以下の周波数設定が可能です。								
		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>モード</th> <th>周波数 (Hz)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連続</td> <td>3, 7, 10, 20, 30, 50, 100, 250, 500, 1000</td> </tr> <tr> <td>間欠</td> <td>7, 10, 20, 30, 50, 100, 250, 500, 1000</td> </tr> <tr> <td>ローリング</td> <td>3, 7, 10, 20, 30, 50, 100, 250, 500</td> </tr> </tbody> </table>	モード	周波数 (Hz)	連続	3, 7, 10, 20, 30, 50, 100, 250, 500, 1000	間欠	7, 10, 20, 30, 50, 100, 250, 500, 1000	ローリング	3, 7, 10, 20, 30, 50, 100, 250, 500
モード	周波数 (Hz)									
連続	3, 7, 10, 20, 30, 50, 100, 250, 500, 1000									
間欠	7, 10, 20, 30, 50, 100, 250, 500, 1000									
ローリング	3, 7, 10, 20, 30, 50, 100, 250, 500									
④	音量設定	基本設定画面で初期設定を変更できます。音量は無音の「OFF」および「LOW」「HIGH」があります。								
⑤	WARM-UPヒーター設定	現在のWARM-UPヒーターの状態を表示します。ボタンを押す毎に「OFF」「ON」が切り替ります。WARM-UPヒーターを使用する場合は「ON」にしてください。再度、押すと「OFF」になります。								

※)「基本設定」については、P.29参照。

## 2 出力調整

メインボリュームを回します。出力は徐々に強くし、気持ちの良い強さにします。はじめは少し強く感じる場所までメインボリュームを回し、そこから少し戻した強さが適切な強さです。部位によっては筋肉の運動がおこるまでメインボリュームを回してください。治療中は右の画面が表示されます。



番号	ボタン/表示	説明
①	治療状態表示	「自由選択」画面での設定内容が表示されます。
②	通電部位名称	「L」「R」。
③	出力レベル表示	現在の出力をレベルで表示します。「-」「+」で部位別の出力調節が可能です。
④	オレンジ	出力ロック状態。メインボリュームや出力調節ボタンを操作しても出力は上がりません。下げることは可能です。
		出力ロック解除。
⑤		「設定変更」画面が表示され、音量の設定変更ができます。
⑥	WARM-UPヒーター	現在のWARM-UPヒーターの状態を表示します。ボタンを押す毎に「OFF」「ON」が切り替ります。WARM-UPヒーターを使用する場合は「ON」にしてください。再度、押すと「OFF」になります。

# 「自由選択」の設定方法

## 3 設定変更(通電中)

通電中画面で、「設定変更」ボタンにタッチすると右の画面が表示され、「自由選択」タグと「設定」タグで各種設定の変更が可能です。

自由選択変更画面 1



番号	ボタン/表示	説明								
①	治療状態表示	「自由選択」画面での設定内容が表示されます。								
②	パターン設定	「連続」「間欠」「ローリング」から選択できます。								
③	治療時間設定	「-」「+」ボタンで変更します 1~15分までの1分単位での変更が可能です。								
④	周波数設定	「-」「+」ボタンで、パターン毎に以下の周波数設定が可能です。								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>モード</th> <th>周波数(Hz)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連続</td> <td>3, 7, 10, 20, 30, 50, 100, 250, 500, 1000</td> </tr> <tr> <td>間欠</td> <td>7, 10, 20, 30, 50, 100, 250, 500, 1000</td> </tr> <tr> <td>ローリング</td> <td>3, 7, 10, 20, 30, 50, 100, 250, 500</td> </tr> </tbody> </table>	モード	周波数(Hz)	連続	3, 7, 10, 20, 30, 50, 100, 250, 500, 1000	間欠	7, 10, 20, 30, 50, 100, 250, 500, 1000	ローリング	3, 7, 10, 20, 30, 50, 100, 250, 500
		モード	周波数(Hz)							
		連続	3, 7, 10, 20, 30, 50, 100, 250, 500, 1000							
間欠	7, 10, 20, 30, 50, 100, 250, 500, 1000									
ローリング	3, 7, 10, 20, 30, 50, 100, 250, 500									
⑤	設定終了	設定変更が終了時にタッチしてください。「通電中」画面に戻ります。								

自由選択変更画面 2



番号	ボタン/表示	説明
①	治療状態表示	治療中の状態が表示されます。
②	音量設定	音量は無音の「OFF」および「LOW」「HIGH」があります。
③	設定終了	設定変更が終了時にタッチしてください。「通電中」画面に戻ります。

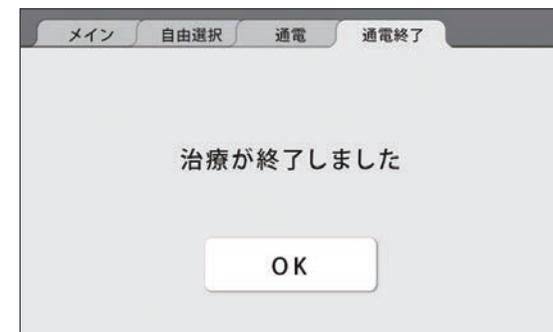
※) この画面で5秒間操作がない場合、自動的に「通電中」画面に戻ります。

## 4 治療終了

①-1 治療終了画面  
治療が終了すると右の画面が表示されます。「OK」ボタンをタッチすると「メイン」画面に戻ります。

①-2 本体と導子の保管  
本体は、電源コード、パッド導子コードを抜いて保管してください。

※) WARM-UPヒーター使用時は、「通電終了時」に自動でWARM-UPヒーターが止まります。



**△ 注意**

- パッド導子を外す時は、コードを持たずに必ず先端のコネクタを持って取り外してください。破損や断線の原因となります。
- 電源プラグを引き抜く時は、電源コードを持たずに必ず電源コードコネクタや、電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火する事があります。
- 鋭角に折り曲げないでください。内部の基板や配線が断線する恐れがあります。
- パッド導子に使用しているシリコンゴムは裂けやすいので、キズをつけないようにご注意ください。破損の原因となります。
- パッド導子の本体及びコードを強く引っ張らないでください。破損の原因となります。
- 分解しないでください。

## 5 省電力機能

「通電中」以外の画面で、操作しない状態が10分間経過した場合は、液晶画面の表示が消え省電力モードに入ります。この時、治療出力ランプが紫色に点滅します。復帰させるには、メインボリュームを押します。「メイン」画面が表示されますので、操作を開始してください。

### 使用後のパッド導子のお手入れ方法

使用後のパッド導子は布枠とスポンジを導子から取り外し、水洗いしてください(洗剤不可)。スポンジの水分を充分に絞り出してから風通しの良いところで乾燥させ、保管してください。

# 基本設定

「メイン」画面の「基本設定」ボタンをタッチすると「基本設定」画面が表示されます。B-SESとパッド導子の基本設定と日時設定の変更ができます。設定が完了したら「設定完了」ボタンをタッチします。ここで設定された内容は、電源を「切」にしても記憶されます。

## 1 B-SES基本設定

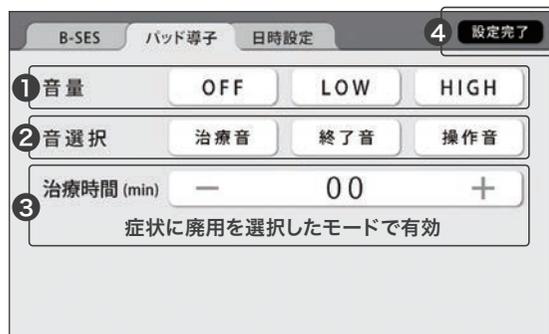
「基本設定」画面で「B-SES」タブにタッチします。B-SES治療で使用する音量などの初期設定ができます。



番号	ボタン/表示	機能
①	音量設定	起動時の音量レベルを設定します。
②	音選択設定	「治療音」「終了音」「操作音」のうちどれを鳴らすかを選択できます。 「治療音」…治療中の周波数に同期した音。 「終了音」…治療が終了した際のお知らせ音。 「操作音」…タッチパネル液晶画面を操作した際の音。
③	ベルト通電部位設定	通電する部位を選択できます。 大腿のみの通電や、左右片側のみの通電時に設定してください。
④	治療時間設定	「-」「+」ボタンで変更します。5～50分までの5分単位での変更が可能です。
⑤	設定完了	設定内容を保存し、「メイン」画面へ戻ります。

## 2 パッド導子基本設定

「基本設定」画面で「パッド導子」タブにタッチします。パッド導子治療で使用する音量などの初期設定ができます。



番号	ボタン/表示	機能
①	音量	起動時の音量レベルを設定します。
②	音選択	起動時に「治療音」「終了音」「操作音」のうちどれを鳴らすかを選択できます。 「治療音」…治療中の周波数に同期した音。 「終了音」…治療が終了した際のお知らせ音。 「操作音」…タッチパネル液晶画面を操作した際の音。
③	治療時間設定	「部位症状」のモードで、症状に「廃用」を選択した場合に治療時間を設定できます。「-」「+」ボタンで変更します。5～50分までの5分単位での変更が可能です。
④	設定完了	設定内容を保存し、「メイン」画面へ戻ります。

## 3 日時設定

3-1 「基本設定」画面の「日時設定」タブにタッチします。現在の日付と時刻の設定ができます。



番号	ボタン/表示	機能
①	現在日付	「年」「月」「日」の変更ができます。※「年」は、西暦で入力してください。
②	現在時刻	「時」「分」「秒」の変更ができます。
③	終了	設定内容を保存し、「メイン」画面へ戻ります。

3-2 変更方法  
各数字の表示欄をタッチします。数字入力画面が表示されますので、数値を入力し「Enter」ボタンをタッチしてください。

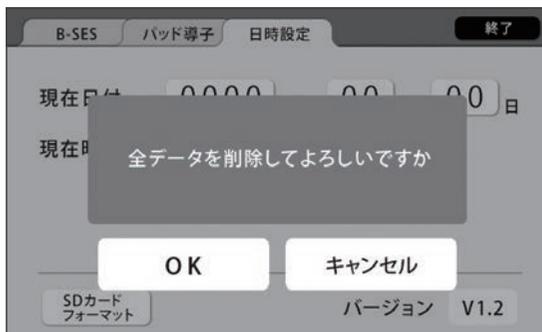


## 4 SDカードフォーマット

4-1 「基本設定」画面の「日時設定」タブにタッチします。「SDカードフォーマット」ボタンを長押し(約2秒)します。



4-2 「全データを削除してよろしいですか」のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをタッチすると差し込み口に入っているSDカードがフォーマットされます。



治療開始の「設定」タブで「患者情報」ボタンにタッチすると「患者情報メイン」画面が表示されます。

※) 患者情報入力中は、イルミネーションランプが「黄色」に点灯します。

## ● 患者情報の機能

機能	説明
患者IDの登録	患者ID: 1~10000の範囲で登録できます。 1つのIDにつき、1000回までの患者情報を登録可能です。 (付属のSDカードでは、最大で約200万回分の患者情報を登録できます。)
患者情報の選択	検索で選択された患者の電流値を選択して、通電中画面に表示します。 通電中画面では、「過去選択値」または「過去最大値」として表示できます。
患者情報の削除	登録した患者情報を削除します。

## 1 患者IDの登録方法

1-1 画面の「ID管理」ボタンをタッチします。



1-2 「登録ID一覧」画面が表示されますので、「新規登録」ボタンをタッチします。



# 患者情報

**1-3** 患者ID入力画面が表示されますので、登録したい患者ID番号を入力し、「Enter」ボタンをタッチします。

※) 患者IDは「1~10000」の範囲で登録できます。10001以上の値は入力できませんが登録されません。



**1-4** 入力されたIDがすでに登録されていた場合、「入力されたIDはすでに登録されています」のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをタッチすると「登録ID一覧」画面に戻ります。新たなIDで登録してください。



## 2 患者情報の選択

**A** IDを入力して選択

**2A-1** 画面のID表示欄をタッチします。



**2A-2** 「患者ID入力」画面が表示されますので、データを選択したい患者IDを入力し、「Enter」ボタンをタッチします。



**2A-3** 「患者情報」ボタンをタッチします。



# 患者情報

**2A-4** 該当する患者IDの情報一覧が表示されます。選択したいデータにタッチすると背景が青に変化します。そのデータで良ければ、「データ選択」ボタンをタッチします。「▲」で上スクロール、「▼」で下スクロールができます。

※ 1つのIDにつき1000回まで登録できます。

ID	回数	記録日時	治療M	大脚左	大脚右	下脚左	下脚右
00005	110	2017/05/23	鹿	11.0	11.0	5.4	5.4
00005	109	2017/05/14	代	12.3	12.1	6.0	6.1
00005	108	2017/04/15	鹿	11.4	11.2	5.2	5.0
00005	107	2017/04/ 8	鹿	11.2	11.0	5.3	5.1

## B 登録ID一覧画面から選択

**2B-1** 画面の「ID管理」ボタンをタッチします。

ID

ID管理 患者情報

**2B-2** 登録ID一覧画面が表示されますので、「ID検索」ボタンをタッチします。

登録ID	記録日時	登録ID	記録日時	登録ID	記録日時
00001	17.05.21	00007	17.04.20	00013	17.05.16
00002	16.10.08	00008	17.03.12	00014	17.04.21
00003	17.04.12	00009	17.05.24	00015	17.04.08
00004	17.03.09	00010	17.02.03	00016	17.03.02
00005	17.05.23	00011	17.04.12	00017	17.05.22
00006	16.12.05	00012	17.05.19	00018	17.05.17

**2B-3** 患者ID入力画面が表示されますので、データを選択したい患者IDを入力し、「Enter」ボタンをタッチします。

患者情報

登録ID一覧

登録ID 記録日時

00001 17.05.21

00002 16.10.08

00003 17.04.12

00004 17.03.09

00005 17.05.23

00006 16.12.05

7 8 9

4 5 6

1 2 3

C 0 Enter

**2B-4** 該当する登録ID一覧画面が表示されます。選択したい患者IDにタッチすると背景が青に変化します。そのデータで良ければ、「決定」ボタンをタッチします。

患者情報

登録ID一覧

登録ID 記録日時 登録ID 記録日時 登録ID 記録日時

00005 17.05.23 00011 17.04.12 00017 17.05.22

00006 16.12.05 00012 17.05.19 00018 17.05.17

00007 17.04.20 00013 17.05.16 00019 17.05.21

00008 17.03.12 00014 17.04.21 00020 16.10.08

00009 17.05.24 00015 17.04.08 00021 17.04.12

00010 17.02.03 00016 17.03.02 00022 17.03.09

新規登録

ID検索

ID削除

決定

**2B-5** 該当する患者IDの情報一覧が表示されます。選択したいデータにタッチすると背景が青に変化します。そのデータで良ければ、「データ選択」ボタンをタッチします。「▲」で上スクロール、「▼」で下スクロールができます。

※ 1つのIDにつき1000回まで登録できます。

ID	回数	記録日時	治療M	大脚左	大脚右	下脚左	下脚右
00005	110	2017/05/23	鹿	11.0	11.0	5.4	5.4
00005	109	2017/05/14	代	12.3	12.1	6.0	6.1
00005	108	2017/04/15	鹿	11.4	11.2	5.2	5.0
00005	107	2017/04/ 8	鹿	11.2	11.0	5.3	5.1

# 患者情報

## 3 患者情報の削除

③-1 画面のID表示欄をタッチします。



③-2 テンキー入力画面が表示されますので、削除する患者IDを入力し「Enter」ボタンをタッチします。



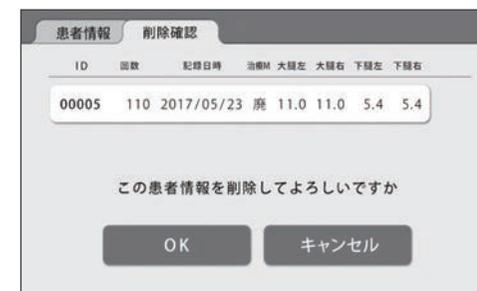
③-3 「患者情報」ボタンをタッチします。



③-4 該当する患者IDの情報一覧が表示されます。削除したいデータにタッチすると背景が青に変化します。そのデータで良ければ、「データ削除」ボタンをタッチします。「▲」で上スクロール、「▼」で下スクロールができます。



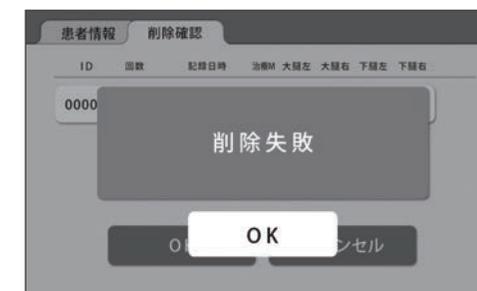
③-5 データ削除確認画面が表示されます。データを確認し、「OK」ボタンまたは「キャンセル」ボタンをタッチしてください。「キャンセル」ボタンをタッチした場合は、③-4「患者情報一覧」画面に戻ります。



③-6 正常に削除された場合、「削除完了」のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをタッチすると「患者情報一覧」画面に戻ります。



③-7 正常に削除されなかった場合、「削除失敗」のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをタッチすると「患者情報一覧」画面に戻ります。データが使用中の場合などで、削除できない場合、一度電源を切り、再度お試しください。

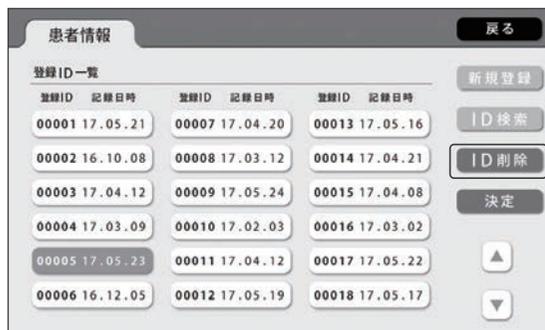


## 4 患者IDの削除

- 4-1 画面の「ID管理」ボタンをタッチします。



- 4-2 登録IDの一覧が表示されます。削除したいデータにタッチすると背景が青に変化します。そのデータで良ければ、「ID削除」ボタンをタッチします。「▲」で上スクロール、「▼」で下スクロールができます。



- 4-3 患者ID削除確認画面が表示されます。データを確認し、「OK」ボタンまたは「キャンセル」ボタンをタッチしてください。「キャンセル」ボタンをタッチした場合は、4-2「登録ID一覧」画面に戻ります。



## ● メッセージ、エラー表示

メッセージ	機器の状態	対処方法	取説参照頁
SDカードが挿入されていません	SDカードが挿入されていない状態で電源を入れた。	SDカードを挿入してください。	P.7 →
治療出力表示ランプとイルミネーションランプが点滅	ソフトウェアエラー	修理を依頼してください。	P.41 →

## ● 修理を依頼される前に

- ① 本機器は、工場において厳格なテストを行っていますが、万一故障と思われたときは、P.7の「機器の準備」からもう一度ご確認ください。
- ② 故障又はご不明と思われる場合は、販売店又はもよりの営業所へ申し付けてください。
- ③ 修理を依頼されるときは、次のことにご注意ください。
  - a) 故障場所と状況を明記してください。
  - b) 修理点検後の製品送付先(住所、氏名、電話番号)を明記してください。
  - c) 保証書を必ず添付してください。

修理お問い合わせ先：株式会社ホームイオン研究所 お客様相談室

☎0120-084239

修理品送付先：株式会社ホームイオン研究所 西東京工場

住所：〒191-0024 東京都日野市万願寺4-22-8 電話：042-584-5132

※補修部品の保有期間は、製造中止後10年とさせていただきます。

## 保証規定

- (1) G-TES(ジーテス)の保証期間は、「お買い上げ後2年間」で付属品を除きます。  
ご使用中万一故障が発生した場合は、お買い上げ店または製造元へ保証書を添えて修理をご依頼ください。
- (2) 下記の場合は、保証期間中でも有償になりますのでご注意ください。
  - イ) 取り扱いの過誤により発生した故障。
  - ロ) 製品を改造したり、不当な修理により発生した故障。
  - ハ) 火災・地震・水害等天災地変などの不可抗力による故障及び損傷。
  - 二) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
  - ホ) 保証書のご提示がない場合。
- (3) 本規定によりお客様の権利を拘束するものではありません。
- (4) 修理等で生じた送料等の諸経費は、お客様のご負担となります。
- (5) 本規定は日本国内でのご使用に対して規定するものです。

この製品には、保証書を別途添付しています。

保証書は記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。